

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	前泊港港湾改修事業	事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	伊平屋村字前泊地先				
事業の諸元	浮棧橋 一式				
事業の概要	<p>前泊港は、伊平屋島の東側に位置し、運天港(上運天地区)との間にフェリーが1日2便就航しており、島の玄関口として重要な役割を担っているほか、ダイビングやフィッシングを目的とした遊漁船等が小型船だまりを利用している。</p> <p>小型船への乗降や荷物の上げ下ろしに際し、ユニバーサルデザインの観点から安全性・利便性の向上を図るため、浮棧橋の整備を行う。</p>				
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 小型船の利用が多い物揚場においては、浮棧橋が整備されていないことから、利用者は船舶への乗降や荷物の上げ下ろしの際に、不便を強いられている。このような状況を改善し、ユニバーサルデザインの理念に基づく施設の整備を図るため、干満の潮位変動に追随する浮棧橋が必要である。</p> <p>《効果》 浮棧橋を整備することにより、船舶と港湾施設の段差が解消され、ユニバーサルデザインに対応した港湾施設の向上が図られることから、伊平屋村の地域振興、定住化促進に寄与することができる。</p>				
事業期間	事業採択	平成28年度	完了(予定)	平成29年度	
全体事業費	2.7	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率 9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画において、「基本施策3-(11)離島における定住条件の整備ーウ交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化」に位置付けがある。				
環境への配慮	波除堤に囲われた小型船だまり内での整備であり、埋立を伴うものではないことから、環境への影響は軽微なものと考えられる。				
関係する地方公共団体等の意見	地元、伊平屋村から要望がある。				
概要図(位置図)					